

兵庫県における助産師出向のあり方を考える

－平成 29 年度兵庫県助産師出向支援導入事業報告会－



産科医不足により分娩可能施設が減少する中、妊産婦の多様なニーズに応え、誰もが安心して子どもを産み育てる環境をつくるためには、質の高い助産師の育成と活用が喫緊の課題となっています。

本県においては、平成 28 年度に 4 病院協力のもと、「助産師出向」※¹の試行事業を実施し、分娩介助件数の増加だけでなく、搬送体制強化や業務改善などの成果を得ることができました。また、今後は診療所への出向も視野に入れた取り組みを行う予定です。

この度、本事業の効果と今後の課題を検討し、兵庫県における助産師出向制度の確立を目指すため、報告会を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

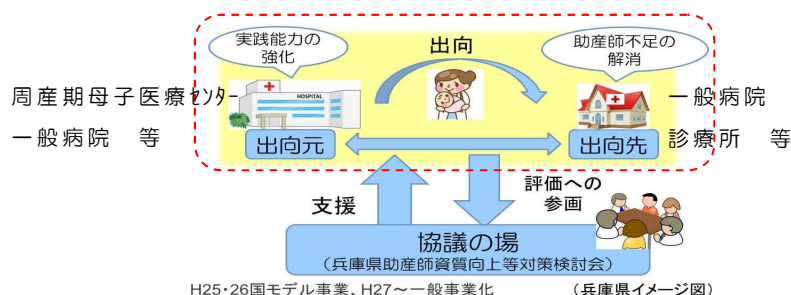
日時	平成 30 年 2 月 10 日（土） 14：00～16：30
場所	ラッセホール 地下 1 階 リリー （神戸市中央区中山手通 4－10－8 TEL：078－291－1117）
内容	1）基調講演（30 分） 「大学病院における助産師のキャリア開発支援について」 講師：神戸大学医学部附属病院 副院長兼看護部長 松浦 正子 氏 2）パネルディスカッション（100 分） 「助産師出向を経験して～今後のキャリア形成支援に向けて～」 座 長：益子産婦人科医院 院長 益子 和久 氏 パネリスト：姫路赤十字病院 副院長兼看護部長 三木 幸代 氏 あさぎり病院 産婦人科病棟師長 川崎 洋子 氏 神戸大学医学部附属病院 助産師 藤本 佳奈 氏 姫路聖マリア病院 助産師 山口 恵子 氏
対象	県内の産科婦人科を有する病院・診療所の医師、助産師、看護部長等管理者、事務職員、看護教育関係者、行政関係者等 約 100 名程度
申し込み・問い合わせ先	裏面の参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。 兵庫県健康福祉部健康局医務課 医療人材確保班（看護指導担当） 井上・村上 TEL：078－341－7711（内線 3255） FAX：078－362－4267



助産実践能力を向上し、産科医の負担軽減を目指しませんか？



<助産師出向とは>



※1 助産師出向とは、病院に就業する助産師の正常分娩の介助経験の減少、診療所の助産師不足という課題に対して、「助産師の就業場所の偏在是正」「助産実践能力の強化支援」等を目的に行うものです。
県として、出向システムを支援することで助産師の資質向上と産科医の負担軽減に繋がります。

平成 29 年度兵庫県助産師出向支援導入事業報告会

参加申し込み書（H30.2.10） 締切り：1/31（水）まで

FAX:078-362-4267

所属：_____

連絡先：_____

氏名	職種

<会場までのアクセス>

神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車 徒歩 10 分（400m）

JR・阪神「元町駅」下車 東改札口 徒歩 12 分（700m）

JR・阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮駅」 徒歩 15 分（1.1km）

